

釜石シーウェイブスR.F.C. (Host)			九州電力キューデンヴォルテクス (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PT		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
佐藤芳昭 (日本協会A2)
アシスタントレフリー
川原佑 (日本協会A1)
高萩覚 (関東協会)
八重樫哲也 (関東協会)

釜石シーウェイブスR.F.C.					
#	Pos.	氏名	資格	年齢身長/体重	出身/所属
1	PR	高橋 拓也		27 172/104	黒沢尻工業高校
2	HO	伊藤 大輝		25 177/103	若狭東高校
3	PR	モーガン・ミッチェル	E	26 173/110	ゴア高校
4	LO	マイケル・フィッツジェラルド	E	32 197/115	ワンガヌイ高校
5	LO	山田 龍之介		28 187/105	大泉高校 → 立教大学
6	FL	上田 宥人		25 183/106	東海大学付属仰星高校 → 明治大学
7	FL	ケイン・コテカ	E	25 182/101	アランモア カトリックカレッジ
8	No.8	中野 裕太		30 180/104	東筑高校 → 早稲田大学
9	SH	南 篤志		26 174/78	清真学園高校 → 慶應義塾大学
10	SO	中村 良真		24 172/77	八戸西高校 → 帝京大学
11	WTB	小野 航大		27 170/81	磐城高校 → 東海大学
12	CTB	村田 オスカロイド		25 173/87	フレッシュウォーター高校 → 東海大学
13	CTB	ヘルダス・ファンデンヴォルト	E	24 184/104	モニュメント高校 → ヨハネスブルグ大学
14	WTB	加賀 亮太郎		24 173/81	宮古高校 → 東海大学
15	FB	ユージェン・フィサー	E	30 191/95	パールジムナジウム高校
16		牛窪 心希		22 178/106	興国高校 → 大阪国際大学
17		延田 朋樹		23 170/93	金光藤蔭高校 → 大阪産業大学
18		佐々木 和樹		29 181/119	盛岡工業高校
19		コーリー・トーマス	E	25 194/114	ギルフォードグラマー高校
20	Re.	木村 優太		27 180/95	宮城水産高校 → 山梨学院大学
21		二宮 昂生		24 170/77	大阪桐蔭高校 → 拓殖大学
22		畠中 豪士		23 177/90	函館工業高校
23		関東 申峻		26 178/85	宮古高校 → 慶應義塾大学

九州電力キューデンヴォルテクス					
#	Pos.	氏名	資格	年齢身長/体重	出身/所属
1	PR	徳永 一斗		26 181/120	佐賀工業高校 → 帝京大学
2	HO	木村 丈博		25 185/114	荒尾高校 → 帝京大学
3	PR	大野 和真		25 181/123	豊北高校 → 福岡大学
4	LO	金山 修真		25 183/104	流経大柏高校 → 流通経済大学
5	LO	トム・ロウ	E	28 202/115	オタゴ大学
6	FL	井上 敬浩		31 185/100	高鍋高校 → 福岡大学
7	FL	山田 有樹		25 180/95	常翔学園高校 → 同志社大学
8	No.8	ラクラン・マカフリー	E	29 194/108	
9	SH	児玉 大輔		28 166/74	日向高校 → 流通経済大学
10	SO	フィル・バーリー	F	33 182/96	シャリーボーイズ高校
11	WTB	本田 佳人		22 180/87	大分雄城台高校 → 東海大学
12	CTB	中島 憲章		30 181/94	福岡高校 → 筑波大学
13	CTB	早田 健二		32 175/83	大分舞鶴高校 → 早稲田大学
14	WTB	磯田 泰成		27 174/75	延岡星雲高校 → 帝京大学
15	FB	加藤 誠央		29 177/88	萩商工高校 → 福岡大学
16		中村 元気		26 176/100	佐賀工業高校
17		鹿子島 良輔		24 170/100	輝翔館中等教育学校 → 流通経済大学
18		廣畑 光太郎		31 177/115	桐蔭学園高校 → 慶應義塾大学
19		園中 良寛		28 189/105	加治木高校 → 筑波大学
20	Re.	小原 渉		30 180/95	東筑高校 → 関西学院大学
21		中尾 康太郎		27 177/80	福岡高校 → 早稲田大学
22		松下 彰吾		28 177/88	福岡高校 → 筑波大学
23		高屋 直生		24 175/80	福岡高校 → 筑波大学

\* 背番号の白抜きはキャプテン \* 資格は F:外国籍、A:アジア、E:特別 \* メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認ください。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』